

しんりんかんだより

‘25 第10号 (vol.106)

年主題 「ともに」

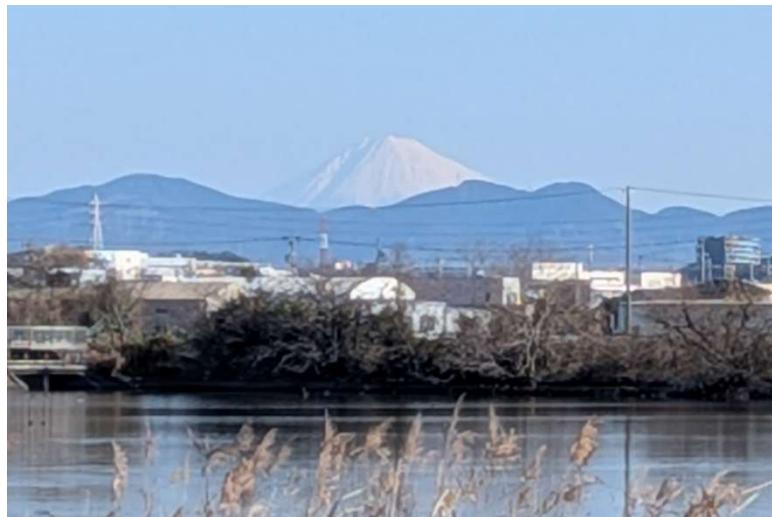
月主題

1,2歳児 いっしょ

3歳児 じっくりと

4,5歳児 広がる

2026年1月5日発行



あけましておめでとうございます。昨年中は親隣館の運営にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

さて皆様、年末年始はゆっくり過ごせましたか？私は鉄道の旅を楽しみ、多摩川10kmランニングで体を鍛え、大好きな箱根駅伝を見て、ゆっくり過ごさせていただきました。

今年の箱根駅伝は青山学院大学の強さに大興奮しました。第2区鶴見中継所通過時点で16位と大苦戦かと思いきや、第5区でエース黒田朝日選手がトップと3分24秒差の5位でタスキを受け、そこから徐々に差を詰めていき、最終的にトップを抜いて往路優勝。復路も他の追随を許さず総合優勝し、改めて青山学院大学のチーム力の強さ、原監督のマネジメント・リーダーシップに感動しました。

親隣館は、監督の強いリーダーシップというよりも、保護者の皆様のお支えと職員のたゆまぬ努力のおかげで運営がでけております。本当にありがとうございます。今年も定員割れ問題、老朽化した園舎の問題等、課題を抱えておりますが、皆様と協力し合いながら、ワンチームで課題に取り組んでいければと思っております。

課題が多い親隣館ですが、子どもファースト・保護者ファーストを最優先し、次世代を担う職員を育成し、地域のために全力を尽くすことをブレずにやっていけば、課題の解決の糸口は必ず掴めると確信しております。

ヨシュア記1:9に「うろたえてはならない。おののいてはならない。あなたがどこに行っても、主があなたと共にいるからだ」とあるように、ピンチに物怖じせず、チーム親隣館を牽引して参ります。本年もどうぞ、よろしくお願ひいたします。

(園長 田中 智和)